

# 透明ゴミ箱の設置等について

2004年5月11日  
東日本旅客鉄道株式会社

国際情勢の緊迫化に伴い、当社ではテロ対策について万全を期しておりますが、この度、側面の大部分を透明の塩化ビニール製とし、万一不審物が入られても発見しやすいような透明なゴミ箱を開発し、従来のゴミ箱と一部置き換えていくこととしました。

またテロ対策と併せて、駅構内における犯罪の抑止に資するよう、防犯カメラの一層の増強・整備を行っていきます。

## 1 透明ゴミ箱の設置

- (1) 設置計画：5月11日以降、新幹線の発着ホームから設置を開始し、その後首都圏在来線等へ設置を順次拡大します。
- (2) 設置台数：新幹線： 50駅 約 800台  
在来線：約250駅 約1,500台
- (3) その他：透明ゴミ箱への置き換えに併せ、管理が行き届くよう集約と再配置を行います。

## 2 防犯カメラの増強・整備

- (1) 設置計画：新幹線停車駅及び首都圏各駅を中心に約500台の増設を行い、全社で約5,000台に拡充します。  
(既存の防犯カメラの機能増強も併せて行います。)
- (2) 設置経費：工事費を含めて約10億円です。